Interview

転機となった中学校の生徒会活動

10代を振り返った時、自身のターニングポイントになったのはどこだろうと考えると、中学校の生徒会活動かなと思います。「気づき、考え、実行する」を合言葉に、同級生7名後輩2名のメンバーで、校内の行事を率先して学校を引っ張っていったり、あらゆる活動に挑戦しました。瀬野川のクリーンキャンペーンやお祭りの企画、海田町こども議会への参加といったまちに関わるものや、熊本地震が発生した時には街頭募金も行いました。僕は学級委員長を務めていましたが、メンバーは皆意識が高く、競い合うように切磋琢磨してきました。とくに印象に残っているのは、海田町町制施行60周年記念事業の一環で、シルバー人材センターの人たちと一緒に「ひまわり煎餅」のお店を出したこと。この時は僕が店長を務め、まずは煎餅がどうやって作られているかを取材して煎餅づくりにのぞみ、綿密な出店計画を練りました。チラシを作ったり、どうしたらたくさん売れるかを考え、皆で試行錯誤するうちに強い団結力を育むことができたと思っています。そのような活動をする中で、普段触れ合う機会が少ないまちの人たちとコミュニケーションを取ることができたことも、大きな収穫でした。自分たちが安心して学校に通い、学ぶことができるのは、温かく見守ってくれる地域の方がいるからだと、あらためて感じたものです。いつしかそれが「自分も大人になったら、子どもたちを支えられるような存在になろう」という気持ちにつながったような気がします。

まちの大人たちを見て育んだ教員の夢

僕は今、広島文教大学で教員を目指し、勉強に励んでいます。教員を志したのは先述の理由もありますが、もう一つきっかけとなった出来事があります。小学校4年生の頃、よく母の習い事について行き、託児施設で待っていました。その時遊んでくれていた託児担当の方が、とても明るく優しい人でした。ある時、小さな子が泣き始め、担当の方があやしていたのですが泣き止まず、代わりに僕が相手をすることに。するとその子がぴたりと泣き止んでニコッと笑ってくれたんです。担当の方も「子どもの面倒を見るのが向いているんじゃない」と言ってくださり、すごくうれしかったのを覚えています。

この出来事をきっかけに保育士もいいなとはじめは思っていましたが、幼児・児童教育の分野の学びを深めていくうち、今は小学校の先生を目指そうと考えるようになりました。僕が小学生の頃、「ひまわりプラザ」に友達と集まってゲームをしたり、フリースペースで宿題をしていたことがありました。当時は深く考えていませんでしたが、海田町は子どもに優しい、子育てのしやすいまちだと思います。家庭を持ち、子育てをするのはまだまだ先のことかもしれないけれど、一生このまちに住みたいなと感じるくらい、僕は海田町が好きです。

まずは今年9月に母校の海田西小学校で1カ月間の教育実習があるので、未来への第一歩を、そこでしっかりと踏み出したいと思います。

いつも支えてくれた両親へ“ありがとう”の言葉と共に

成人という節目を迎えさまざまな思いが込み上げてきますが、今の僕があるのは、やはり両親のお陰だと心から感謝しています。物静かな父は、長く単身赴任をしており、家族のために一生懸命働いてくれました。僕が決めたことを黙って認め、見守ってくれる存在です。明るく元気な母は、悪いことをすると僕だけでなく僕の友人も一緒に叱るような、愛情深い人。小さい頃は海田総合公園に遊びに連れて行ってもらったりと、たくさんの思い出を作ってくれました。何より、精一杯働きながら、僕を育てる姿を見せてくれたことで、道に迷わず真っすぐ歩んでこられたのだと思っています。現在は長かった父の単身赴任も終了し、また家族で一緒に暮らせるようになりました。まだまだ親に頼りっぱなしのところもあるけれど、少しずつ自分のことは自分でやるようにして、今度は僕が両親を支えていける存在になっていきたいです。あらためて言葉にするのは照れくさいけれど、「20年間育ててくれてありがとう」の言葉を、両親に贈りたいと思います。今日のこの気持ちを忘れず、今後も夢に向かって努力を重ね、一歩一歩自分の人生を歩んでいきたいです。

My Favorite
海田のお気に入り

思い出が多く詰まった瀬野川

小学校6年間の遠足はいつも瀬野川で友達と駆け回って遊んでいました。また、近所に住む祖母と一緒に犬の散歩にもよく出かけていたものです。河川敷の緑や川面がキラキラ反射するのがきれいで大好きな場所。自然豊かなところもまちの良いところだと思います。

今をときめく
まちのあの人に会いに行く
募集

企画課（役場3階）
TEL 823-9212
Mail kikaku@town.kaita.lg.jp

広報かいたにご出演いただける人を募集中。自薦他薦は問いません。海田町で活躍していたり、新しいことに取り組んでいたり、まちのことが大好きな人をお待ちしています。興味がある人は上記の連絡先より問い合わせてください。